



【お知らせ】

○メールマガジン第41号（1月1日）

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症対策で新年互礼会、研修旅行を中止し、総会を書面表決としました。しかし、第72回“社会を明るくする運動”は「2年続く世間の萎縮ムードを、今年は明るくする」心構えで東灘区保護司会一丸となってチャレンジしました。

- ・「集い」は規模を縮小して3年ぶりの開催
- ・「パネル展示」は関西国際大学のみなさんも参加
- ・「作文コンテスト」は初めてのポスター制作と表彰式
- ・「大学生等メッセージ動画コンテスト」の第1回開催
- ・「区役所ホームページ」で社明運動コーナーを開設
- ・「コミコミ」に6月7月8月連載そして12月も

そして、

- ・地域別定例研修に加えて「SST研修」
- ・中学校との連携強化事業
- ・関西国際大学「サービスマーケティング」春・秋学期プログラム「BBS活動を通して学ぶ地域の更生保護」の担当

などをしました。

さて、今年は出来るだけコロナ前に戻すとともに、昨年と同様、挑戦的・創造的活動に取り組みたいと思っています。

最後に、毎年同じことを言っていますが、映画・テレビ・本・講演会および、お店の紹介、個別イベント参加の報告、趣味・特技の披露などでもかまいませんので、是非とも皆様の投稿をお願いしたいと思います。

【会員の投稿（保護司関連の話）】

○12月5日 ツイート 矯正図書 恐ろしい…親の「よかれと思って」が少年犯罪につながる理由【犯罪心理学者が解説】



○12月9日 法務大臣臨時記者会見の概要
名古屋刑務所職員による暴行・不適正処遇事案に関する質疑について

○令和4年10月法務総合研究所 研究部報告63 犯罪者・非行少年の生活意識と価値観に関する研究

○12月13日 令和4年版犯罪白書

○12月13日 令和4年版再犯防止推進白書

○「非行少年の心に迫る」

非行少年の心に迫る

令和4年12月23日

東灘区保護司会
和田 道夫

【区市等会議】

○保護司研修

日時 12月8日（木）14:00～16:00

場所 神戸法務総合庁舎5階 大会議室

出席者 和田会長

令和2年5月から令和3年10月に新任委嘱された神戸市内の保護司58名のうち約40名が出席。

研修1は神戸保護観察所長の講話

研修2は先輩保護司（地区保護司会長等）が答える対話方式の質疑応答に参加。

事前に割り振られた質問への回答準備、当日の質疑応答を拝聴し、はるか昔の新任時代を思い出すとともに、観察所長の講話も含めて基本に戻る良い機会でした。



○第3回保護司代表者会議・県連理事会

日時 12月19日（月）10:30～14:15

場所 湊川神社楠公会館 青雲の間

出席者 和田会長

午前保護司代表者会議後で、午後理事会。いつもの通り、隣席の灘区の会長さんと情報交換を行った。（和田保護司投稿）



○作文・エッセイコンテスト表彰式

日時 12月26日(月) 13:30~14:50
 場所 湊川神社 楠公会館2階 菊水の間
 出席 審査員として和田会長
 挨拶、贈呈者・審査員・保護司会長等紹介、各賞の贈呈、受賞者代表による作品朗読発表、記念撮影。素晴らしい作品、堂々とした朗読、ありがとうございました。特に、全文暗唱された受賞者には感服しました。



【研修活動】

○第6回オンライン自主研修のご案内

令和4年度 東灘区保護司会
第6回オンライン自主研修のご案内

【教材】

宮田保護局長からの挨拶に続いて、伊東秀彦弁護士から「犯罪被害者の思いに寄り添う支援～犯罪被害者遺族兼弁護士の視点から」と題して講演がありました。神戸保護観察所から動画配信の案内がありました。

令和4年12月7日(水)「令和4年度第6回オンライン自主研修のご案内」メールで視聴方法をお知らせいたします。ご確認ください。

【自主研修の要領】
 ご案内の要領、定員を100名程度にとりまして
 東灘区保護司会広域研究会
 「活動支援」「報告」「報告月日」を記入してメールください。(要領による代替メールも随時受付)
 送付期限は**令和5年1月16日(月)**です。(遅延送付と100名程度の超過・超過は必須です)

○薬物依存症セミナー&家族相談会 (in 大阪)

令和4年度厚生労働省薬物依存症民間団体支援事業
薬物依存症セミナー&家族相談会 参加無料

Let's Get Started

2023年
1月15日(日)
 エルおおさか
 606号室
 大阪府中央区北浜2-3-10

薬物依存症セミナー
 14:00～16:00(受付13:30～)

薬物依存症の理解や治療の最新情報が満載のセミナーです。薬物依存に対する理解と治療の重要性、その人にとっての回復プログラムなどをお話いたします。お話を聞いて頂くことで、理解を深め、治療の重要性を改めて認識していただきます。

講師
 藤井 亮明 先生
 公益財団法人 関西光生会 専任医師 院長

田中 祐子
 一般社団法人 ARTS 理事
 公益財団法人 マップル 依存症回復センター 代表

山本 大
 一般社団法人 ARTS 理事
 特定非営利活動法人 アドバンス 代表

家族相談会(予約制)
 16:30～18:30

家族の問題や悩みを相談し、解決策を探ります。少人数制で質問や悩みを安心して話せる場を設けます。

講師
 田中 祐子
 一般社団法人 ARTS 代表理事
 公益財団法人 マップル 依存症回復センター 代表

家族相談会予約方法

お電話にてご予約ください

090-3997-4588(すや)

受付時間: 10:00～18:00(土曜・日曜・祝祭日を除く)

主催 一般社団法人 ARTS お問い合わせ 090-3997-4588(すや) 2022/11

【協力組織活動】

○12月3日ほんわかキッチン(川西保護司)無事に子供食堂開催できました。本日は79食ご利用頂いております。不登校支援もしておりますので、今日は不登校のお子様の手伝いに来られました。地域のおばさんなど、見守られて一生懸命に頑張ってくれました。



○東灘区更生保護女性会 理事会・更女会

日時 12月4日(日)
 10時～12時(理事会)
 12時～14時(愛の持ち寄り物品の仕分け)
 場所 サポートセンター横、大会議室
 出席者 桑山更女会長、羽島、森、清原、浅海、川崎、松澤、千葉、藤田、米倉会員
 議題
 ・東灘区更女今年度の活動報告、今後の予定確認
 ・第70回兵庫県更生保護大会(朝来市) 近畿更女連盟会長表彰 川崎さん

神戸保護観察所長感謝状 藤田さん

- ・関西国際大学でのサービスラーニングについて
- ・三者連携強化研修について
- ・新たな取り組みについて、協議
- ・更女だより5号発行に向けて、検討

理事会の後、愛の持ち寄り運動に、皆さまから寄せられました沢山の物品(←県下、三ヶ所の更生保護施設へ寄贈いたします)の仕分け作業を行いました。(桑山更生女会長、米倉会員投稿)



○歳末愛の物資贈呈式

12月9日観察所において昨年に引き続き縮小されて行われました

昭和36年にお米の持ち寄りや綿を持ち寄ってお布団を仕立てる事から始まったそうです
今年度も多くの方がたのご協力で姫路薬師寮 保正会 兵庫学而園にお届けする事が出来ました
厚くお礼申し上げます



なお 8日には各地区から届いた衣類 日用品 お米等観察所の会議室にて3か所への仕分け作業を神戸ブロックの会員同士が協力して楽しかったと笑顔で終える事ができました
東灘区ではたくさんの方々のお陰で330点の品物が集まりました 心よりお礼を申し上げます
(桑山更生保護女性会長)

○甲南大学法学会主催講演会

日時 12月13日(火) 15:00~16:30
会場 甲友会館

刑事司法と福祉 大学生生活50年をふりかえって
講師 甲南大学名誉教授 前田忠弘先生
最終講義を兼ねての講演会。「1 現場から学ぶ」「2 学びを鳥瞰する」で、前者では4項目、そのうちの 하나가「東灘更生支援プロジェクト(社会を明るくする運動等地域と学生が連携した活動)を揚げてくださり、しかも「先進的な活動」と説明されました。前田先生、大変お世話になりました。今後、社会福祉士として「福祉からみた司法」「司法領域における社会福祉士の存在意義と役割の向上」に取り組まれますとお伺いしました。是非とも、前田先生の司法・福祉ネットワークに参画したいと思います。(和田保護司投稿)



○茨城県BBS会&保護司会情報交換会

日時 12月14日(水) 20:00~21:50
場所 ZOOMミーティング

呼びかけ人 茨城県BBS連盟 会長
参加者 BBS会 水戸地区BBS会員 2名
筑波大学広域BBS会 4名
保護司 尼崎市保護司会 会長
東灘区保護司会 会長

第4回目の情報交換会。まず、自己紹介をした後、それぞれの保護司会、BBS会の活動紹介。その後情報交換に。特に、新任保護司候補者の確保施策、BBS会の「時代とともに変わるもの、時代が変わっても変えないもの」など活発な意見が出て、あっという間の2時間半でした。地域差、世代差、立場の違いを超えた、素敵なミーティングでした。尼崎市保護司会会長がご参加されているのにはお互いにびっくり。更に、水戸地区BBS会会長が阪神淡路大震災で本山南町の方と懇意になられ、今でも数年に1回は来神されているのにも。次回は令和5年2月8日(水) 20時から (和田保護司投稿)



○12月15日 ほんわかキッチン「更生保護女性会からプレゼント」

12月クリスマスシーズンということで更生保護女性会から子供食堂ほんわかキッチンにお菓子の詰め合わせ50セットを提供頂きました。18日の開催で子供達に喜んで頂きます。皆様ありがとうございました。(川西保護司投稿)



○12月18日ほんわかキッチン（川西保護司）

今日は更生保護女性会の会長さんを始め3名ご視察頂きました。ありがとうございました。本日は89食のご利用でした。BBS会から3名（内、甲南大学生2名）お手伝い頂きました



【支部活動】

○本山支部会

日時 12月1日（木）19：00～20：20

場所 東灘区更生保護サポートセンター

出席者 和田、山下、松澤、永井、藤田、中瀬保護司

議題

・連絡事項

○作文コンテストの総括

○第70回兵庫県更生保護大会の表彰者

○SST研修会のまとめ

○新任保護司の予備調査

○令和5年新年互礼会について

今回も、就労支援、作文コンテスト支部活動、保護観察終了後の対応、対象者の処遇などについて意見交換が行われた。(和田保護司投稿)



【その他】

○サポートセンター大掃除

日時 12月25日（日）10：00～11：30

場所 東灘区更生保護サポートセンター

3階大会議室

出席者 山下、大谷、松澤、藤田、米倉保護司

桑山更女会長

日頃、東灘区の更生保護活動の拠点として使わせて頂いておりますサポートセンターを、皆さんで隅々まで丁寧にきれいに大掃除いたしました。

すっきり爽やか、気持ち良く新年を迎えることができそうです！（米倉保護司投稿）



令和4年度第5回オンライン自主研修 感想・意見

**令和4年度 東灘区保護司会
第5回オンライン自主研修のご案内**

【教材】いつでもYOUTUBEで視聴できます

<https://youtu.be/yvYKmcS-ANU>

「京都府保護司会連合会」で検索

主催：京都府保護司会連合会

【自主研修の要領】
ご覧になった感想、意見を100字程度にまとめて
東灘区保護司会広報部会宛
「所属支部」「氏名」「標記月日」を記入してメールください。(支部票による代行メールでも結構です)
送付期限は令和4年12月15日(木)です。(期限満ちると100字程度の感想・意見は必須です)

① 俳優高知東生氏の講演を聞きました。幼少期から青年期に至るまでの壮絶な体験・家庭環境の中でよく今の高知さんが存在しているなあ、というのが正直な感想です。覚醒剤を体験する瞬間の心の動きや仕事や結婚生活から逃げるために覚醒剤を使う流れも良くわかりました。

刑務所から出所後の言葉「薬をやめることはできても、これからの人生をどう生きるかが難しい」という言葉は切実だと思います。

人生を生きなおすのに、自助グループの力が大きかったと言われていましたが、やはり、覚醒剤からの脱却は本人だけの力では難しく、支援団体の援助がひつようと認識しました。

最後に、「認知のゆがみ」という言葉が印象的でした。

② 高知さんの紆余曲折を経てどん底から立ち直られた話を聞き、いかに周囲の方々とのつながりが大切かを痛感した。

我々保護司の仕事についても、さらにその自負と誇りをもってその任を全うしていきたいと感じた。

③ 色々な言葉が語られていましたが、「過去を価値に変える」という田中紀子さんの言葉が大変印象に残りました。

高知氏もおっしゃっていたように、一度の失敗で人生が終わるような教育、生活は、味気のないものです。多くの人が失敗をして、恥をかいたからこそ今があるといえるでしょう。その時、助けとなる人、場所が備えられていることが大切です。

一人ですべてを担うことは難しいでしょうが、専門家や諸団体と協力することが大切であることを改めて学びました。協力するためには、互いに歩み寄ること、情報を共有することが肝要となってくると思います。情報は、待つだけでなく、受け取りに行くことも大切ですので、このようにオンラインで研修できるのは、大変有意義でした。

④ 今回の講演では薬物依存からどう脱却するか、再犯をどう防ぐかと言う視点では無く「新たな生活をどう構築するか」に重点が置かれていて興味深く聞かせてもらいました。

薬物依存を支援する「ダルク」と言う施設が各県に置かれていて薬物から立ち直った経験者が「寄り添う」と言う話は聞いたことがあるのですが自分はまだ携わったことが無いので良く判りません。

今回の講演者は再犯に関しては心配無いが「これからどう生きていこうか」と言う葛藤から話が進んで

いたように思いました、田中さんとの出会いから「自分は一人ではないんだ」と言う事に気付き田中さんの提案を受け入れて「母親のルーツ」を探りに四国へ行ったという話は感動的でした。

以外なところから道が開くことが出来る、保護司として多種多様なカウンセラーとの接触や受講もこれから必要なのかなと思いました。

PS.ホールでの講演はスピーカーを通じて放映されるので音が割れて聞き取りにくかったです

⑤ 「生き直す」テーマで。「高知さんの過去を価値に変えて欲しい。私達と一緒に話しをして下さい」というスポンサー田中紀子さんとともに高知さんは

- ・自分の生い立ちを隠さず語る
- ・自分の考え方のクセを明らかにする
- ・そして、過去を振り返る。母親のルーツを探ることで謎が解けた

そこまでやって「自分を変えることができ、本当の生き方に気づいた」と語る。

この自叙伝を、高知さんと田中さんの掛け合いできめ細かく語られた。依存症支援はここまで大変なことであるとは思っていなかった。とても意義ある講演会でした。